和歌山県立向陽高等

第１号

ＳＳＨニュース

発行日：Ｈ２８．４．１９
編　集：ＳＳＨ事務局

向陽高等学校・中学校は、平成23年度からのスーパーサイエンスハイスクールの再指定期間５年を終え、経過措置の活動に入ります。

ＳＳＨ（スーパーサイエンスハイスクール）とは？

平成14年度より文部科学省は未来を担う科学技術系人材を育成することをねらいとして、理数系教育の充実を図る「スーパーサイエンスハイスクール（SSH）事業」が始まりました　。SSH指定校では、科学技術や理科・数学教育を重点的に行い、「科学への夢」「科学を楽しむ心」をはぐくみ、生徒の個性と能力を一層伸ばす教育が展開されています。また、科学技術に夢と希望を持つ、創造性豊かな人材の育成のため、大学や研究機関とも連携して魅力的なカリキュラムや指導方法の研究も行っています。向陽高等学校・中学校は、平成23年度から5年間の再指定を受け、平成27年度に第2期SSHの終了年度を迎えました。平成28年度については文部科学省よりSSH経過措置指定を受けました。今年度のSSH事業につきましては一部変更ありますが、昨年とほぼ変わらない教育活動を行う予定です。

本校のスーパーサイエンスハイスクールの取組は？

向陽高等学校・中学校のスーパーサイエンスハイスクール事業では、高校環境科学科を中心に、向陽中学校や高校普通科第2学年理系も対象として、以下の研究開発課題に取り組み、「中高一貫教育を中心とした高度で専門的な探究力を持つ科学者育成『高めるサイエンス』」と「国際コミュニケーション能力の育成と地域の学校の科学リテラシー向上『広げるサイエンス』」の2つのコンセプトで『向陽サイエンスシップ（KSS）』を展開していきます。

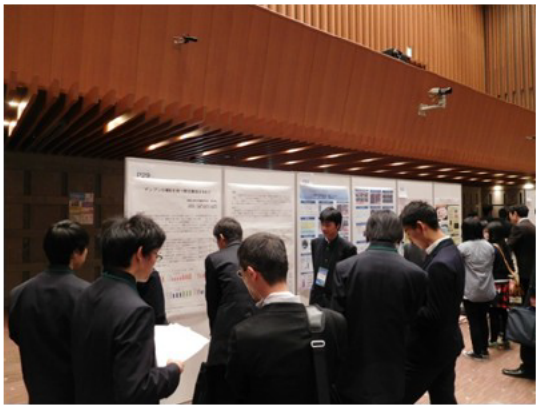
SSH事業の助成金により、普通の学校ではできないことが可能になります。

- 専門器械の購入による実験の充実
- 大学・研究機関への訪問
  （研究室訪問）
- 第一線で活躍する科学者による講演会や授業
  （実験講座、先端科学講座）
- 全国SSH指定校との交流

理学部がジュニア農芸化学会に参加　札幌コンベンションセンター

公益社団法人日本農芸化学会の主催するジュニア農芸化学会が、3月28日に札幌コンベンションセンター特別会議場で開催され、本校理学部員5名が参加し、研究成果の発表を行って参りました。日本農芸化学会は1924年に設立された歴史ある学術団体です。毎年3月に大会が開催され、数多くの大学や企業の関係者がバイオサイエンス・バイオテクノロジーを中心とした多彩な分野における研究成果について発表し、交流する場として非常に有名な学会です。その中でジュニア農芸化学会は2006年度大会より開催されている高校生によるポスター発表会で、今年度は全国から40校もの高校が参加し、主に生物、化学全般に関する研究発表を行いました。

本校からは理学部の部活動で取り組んできた「デンプン分解能を持つ野生酵母を求めて」という研究テーマで発表を行いました。会場では、大学の先生方や企業研究者、様々な研究機関の研究員の方々から質問やアドバイス、激励の言葉をいただきました。また、全国から集まった高校生たちの発表にも刺激を受け、改めて自分たちの発表方法について考え直すよい機会となりました。また、興味をもった発表ブースでは、研究方法について協議するなど交流の場を持てたことは大変貴重な経験となりました。



４月から、ＳＳＨ関連行事が始まります。詳しいことは、ＳＳＨニュースで紹介していきます。